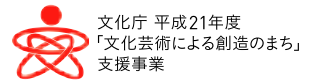




□主催：地域アートマネージャー育成事業実行委員会
□後援：大阪市立大学都市研究プラザ・大学院創造都市研究科



Art Management

地域のためのアートマネジメント講座 **前期受講生募集**

まちづくりはアートから！

アートのもつ創造力をまちに浸透させ、アートとの触れ合いのなかから、まちの姿を変えてゆく。そういった創造性をいかしたまちづくりを牽引するのが、アートマネジメントです。本講座では、概説書ではお目にかかれないユニークなアートマネジメントの専門家を招き、その手法、考え方について学びながら、これからのコミュニティのあり方について考えます。

本講座は地域での文化活動をすすめる人材育成を目指し、市民に向けて地域と大学が協働して開催するものです。

01 第1回：アートマネジメントと創造都市
関西の都市再生のためにアートマネジメントは何ができるか？アーティストと市民が出会い、互いに刺激される「創造の場」をどのようにマネジメントするのか？欧米の創造都市、バルセロナやモントリオール、日本で創造都市をめざす、横浜や金沢など、注目される事例を取り上げて論じます。
□講師：佐々木雅幸（大阪市立大学都市研究プラザ所長／同 創造都市研究科教授）
□日時：2009年5月23日（土）15:00～17:00
□会場：キャンパスポート大阪 ルームA（大阪駅前第2ビル4F）

02 第2回：アクセスを可能にする中間支援を志して
～アート・サポート・センター神戸の事例から～
震災後、文化支援活動を行うために設立されたアート・エイド・神戸は、被災したアーティストとの支援とともに、復興を通じて新たな文化を神戸に生み出してきました。現在は創造的文化の交流拠点、アート・サポート・センターの活動として、ジャンルを超えたアートの交流や地域へのアプローチをうながし、市民が主体的にアートを支える基盤づくりに貢献しています。
□講師：島田誠（ギャラリー島田／アート・サポート・センター神戸代表）
□日時：5月27日（水）19:00～21:00
□会場：船場アートカフェ

03 第3回：ALS-Dプロジェクト
～アートプロジェクトとしての難病支援～
新体道やヨガ、指圧治療など〈身体系〉に秀でた甲谷匡賢氏は2002年、次第に全身の筋肉が動かなくなる神経難病ALSを発症。3年にわたる入院生活から、24時間他人介護の在宅独居生活実現・継続を支えるのは、医療や福祉にはまったく無縁の、〈身体表現系〉の友人達。舞台芸術プロデューサーがコーディネイトする、〈アートプロジェクトとしての難病支援〉について話します。
□講師：志賀玲子（大阪大学コミュニケーションデザイン・センター特任教授）
□日時：6月17日（水）19:00～21:00
□会場：船場アートカフェ

04 第4回：行政とアートマネジメント
従来の行政主導の街づくりは「官製」という言葉が象徴するように、あまり成功していたとはいえません。しかし近年、行政も市民・NPO主導のアートマネジメントを導入することで、いくつかの成果をあげているのも事実です。大阪市を中心に行政の行うアートマネジメントの実態と展望について、地域の実例や美術館の今後の果たす役割について紹介しながら考えます。
□講師：菅谷富夫（大阪市立近代美術館建設準備室主任学芸員）
□日時：6月20日（土）15:00～17:00
□会場：大阪市立大学 文化交流センター 小セミナー室（大阪駅前第2ビル6F）

05 第5回：別府温泉街におけるアートマネジメント
BEPPU PROJECTは、2005年の創立以来、温泉地別府を活動拠点として、アートと地域をつなぐさまざまな実践をおこなっています。2009年春に開催された、別府現代芸術フェスティバル2009「混浴温泉世界」を振り返るとともに、これまでの活動と今後の展望について紹介しながら、現代アートの持つパワーと地域社会との関係性について論じます。
□講師：山出淳也（NPO法人 BEPPU PROJECT 代表理事／アーティスト）
□日時：7月15日（水）19:00～21:00
□会場：船場アートカフェ

06 第6回：ムラのアートマネジメント
インドネシアのジャワ島中部のジョグジャカルタ市周辺には、陶器、シルク、銀細工、更紗、ガムラン、彫絵などの工芸・芸術を供給する村落が点在しています。しかし、近代化の波のなかでコミュニティは崩れ、伝統的な文化も失われつつあります。この状況に危機感を抱く人々により、芸術による村落コミュニティ再生のプロジェクトが始まりました。〈通訳あり〉
□講師：オン（アートディレクター／インドネシア、ニティプラヤン村）
□日時：7月25日（土）15:00～17:00
□会場：大阪市立大学 文化交流センター 大セミナー室（大阪駅前第2ビル6F）

07 第7回：ご縁と創造性を育むコミュニティアート
小型のアートNPOが「燃え尽き症候群」に陥らないためにはどうしたら良いか？船橋市本町通り商店街をベースにコミュニティアートを展開してきて得た結論は、「お金も手間もかけないアートプロジェクトをやろう!」というもの。NPOは、庶民が社会において用いることができる非常に貴重な資源であり、そういう観点から、ご縁と創造性を育むコミュニティアートのあり方について考えます。
□講師：下山浩一（特定非営利活動法人コミュニティアート・ふなばし理事長）
□日時：8月12日（水）19:00～21:00
□会場：船場アートカフェ

08 第8回：美術館活動における「グローバル」と「ローカル」
世界の文化・芸術活動の成果を収集・研究・展示し、文化発信拠点としての評価を国内外に広く求める美術館において「地域」とは何かというテーマを、美術館現場の状況や地域との連携の実例を参照しながら考えていきます。
□講師：植木啓子（サントリーミュージアム[天保山]学芸員／大阪芸術大学非常勤講師）
□日時：8月29日（土）15:00～17:00
□会場：大阪市立大学 梅田サテライト105教室（大阪駅前第2ビル6F）

09 第9回：共有空間の獲得
「ダムタイプ」は90年代にAIDSとそれを取り巻く社会問題と出会いました。そして、社会に対して新しい制度や価値観を創りあげる途次の失敗の繰り返しのなかから徐々に芽生えてきた、「共有空間の獲得」という喜び……この「喜び」という価値観こそが未来への扉の一つとなるのではないのでしょうか？過去の事例を振り返りながら、この「喜び」の質について考察してみます。
□講師：小山田徹（美術家）
□日時：9月9日（水）19:00～21:00
□会場：船場アートカフェ

10 第10回：文化ツーリズムと地域コミュニティ
文化ツーリズムは、地域文化に触れることによってその多様性を知ることが目的です。しかし、注意しなければ文化資源は収益のために破壊され、どこにでもあるような観光地になっていきます。そこにはグローバルizmとローカルizmの接触があるのです。タイの文化ツーリズムを具体例としながら、アートマネジメントと共通する課題について考えます。〈通訳あり〉
□講師：スパコーン・ディサタパンドゥ（美術史学者／タイ、チュラロンコン大学准教授）
□日時：9月19日（土）15:00～17:00
□会場：大阪市立大学 梅田サテライト105教室（大阪駅前第2ビル6F）

募集概要

□定員：20名(定員になり次第締切) □受講料：無料 □参加資格：特になし □申込み方法：e-mailにて、下記必要事項を添えて、5月20日(水)17:00までにお申込みください。住所・氏名・所属・連絡先(電話番号とe-mailアドレス)および受講可能回数またこの講座を受講しようと思った理由を簡単にお書き下さい。 ※原則として6回以上受講可能な方を対象といたします。※受講生の方には講座終了後、レポート等を提出していただくことがあります。

□受講申込み・問合せ：地域アートマネージャー育成事業実行委員会 事務局 メールアドレス aaam@ur-plaza.osaka-cu.ac.jp

講師プロフィール

□佐々木雅幸/金沢大学、立命館大学教授、ポロニヤ大学客員研究員を経て現職。2002年より3年間、放送大学客員教授として「アーツ・マネジメント」を担当する。文化経済学会(日本)会長。著書に、『創造都市への挑戦』(岩波書店、2001)、『アーツ・マネジメント』(放送大学、2002)、『創造都市への展望—都市の文化政策とまちづくり』(学芸出版社、2007)、『創造都市と社会包摂』(水曜社、2009)など。

□島田誠/海文堂書店代表取締役を経て、2000年からギャラリイ島田代表取締役。アート・サポート・センター神戸代表。(公)亀井純子文化基金やNGO/NPOのファンド・レイジングのための「ぼたんの会」の活動を通じて、神戸を中心とした芸術文化支援をおこなう。著書に『編織、赤信号をわたる：アート・エイド・神戸の現場から』(神戸新聞出版センター、1997)など。

□志賀玲子/大阪大学コミュニケーションデザイン・センター特任教授。1990～2008年アイホール プロデューサー。2000～07年びわ湖ホール夏のフェスティバル プログラムディレクター。2003～06年京都造形芸術大学舞台芸術研究センタープロデューサー。この他、舞台芸術のプロジェクトに多数かかわる。京都/西陣で織屋建の町家を改造した生活空間に併設した〈スペースALS-D〉を運営。ホームヘルパー2級。

□菅谷富夫/1992年より近代美術館建設準備室学芸員として勤務し、近代デザイン、現代美術を担当する。主な担当展覧会に「早川良雄の時代」、著書に『都市環境デザインの仕事』[共著](学芸出版、2001)、『デザイン史を学ぶクリティカル・ワーズ』[共著](フィルムアート社、2006)、論文に「大阪近代製菓業界の成立と宣伝活動」(2002)、「大阪府立商品陳列所と図案啓蒙活動」(2005)などがある。

□山出淳也/文化庁在外研修員としてパリに滞在(2002～04年)。主な展覧会として「台北ビエンナーレ」台北国立美術館、「GIFT OF HOPE」東京都現代美術館、「Exposition collective」Palais de Tokyo、パリなどに出品。地域や多様な団体との連携による国際展開をめぐり、2005年にBEPPEU PROJECTを立ち上げ、現在にいたる。平成20年度芸術選奨文部科学大臣新人賞受賞(芸術振興部門)。

□オン/芸術大学を卒業後、国際的なグラフィック・デザイナーとして活躍。1993年にニティブラン村へ移住し、現代アートフェスティバルを開催するいっぽう、村のもつ文化資源に着目して、女性のガムラン合奏団などを組織するなど、村の活性化に注力する。アートセンター、美術館、自然小学校などを独力で建設し、村の人々に使ってもらっている。

□下山浩一/1997年にコミュニティアート・ふなばしを立ち上げ、2002年まで知的障害児との即興ダンスワークショップの企画・運営に取り組み。2002年より、若年者のための表現とコミュニケーションのためのサロン「cafe-3-」を展開。現在は、現代アーティスト・門脇篤氏とのプロジェクト「叙事詩コミュニティアート城」、ネットワーク型の上映プロジェクト「コミュニティアート映像祭」を展開中。

□植木啓子/マンチェスター大学大学院で美術館学、美術社会学を専攻。仏マルセイユ滞在中を経て、1997年より現職。主に近現代ヨーロッパのデザインをテーマとした展覧会を企画・担当。主な展覧会に、「マッキントッシュとグラスゴー・スタイル」、「レイモン・サヴィニャック」、「純粋なる形象：ディーター・ラムスの時代」など。大阪芸術大学デザイン科非常勤講師。

□小山田徹/美術家。京都市立芸術大学日本画科卒業。1998年までパフォーマンスグループ「ダムタイプ」で舞台美術と舞台監督を担当。平行して「風景収集狂舎」の名で様々なコミュニティ、共有空間の開発を行ない現在に至る。近年、洞窟と出会い、洞窟探検グループ「Compass Caving Unit」メンバーとして活動中。

□スパコーン・ディサタバンドゥ/「西洋とアジアの比較美術史」「カルチュラルマネジメントとツーリズム」を専門とする美術史学者。チュラロンコン大学芸術学部准教授として籍を置いたわら、大学院文化マネジメント研究科の科長を務める。オレゴン州立大学にて博士号を取得する。論文に「メコン地域における遺産ツーリズムのための解釈の概念化」、「イサーン地方の生活美学」などがある。

□地域アートマネージャー育成事業実行委員会 事務局

大阪市住吉区杉本3-3-138 大阪市立大学都市研究プラザ内 E-mail: aaam@ur-plaza.osaka-cu.ac.jp TEL: 06-6605-2071 FAX: 06-6605-2069

会場

□キャンパスポート大阪(特定非営利活動法人 大学コンソーシアム大阪)
(大阪駅前第2ビル 4F)

<http://www.consortium-osaka.gr.jp/index.html>

□大阪市立大学梅田サテライトおよび文化交流センター(同6F)

<http://www.gscs.osaka-cu.ac.jp/index.html>

大阪市北区梅田1丁目2-2 大阪駅前第2ビル
大阪・北新地(JR線)、梅田・東梅田・西梅田(市営地下鉄)、
梅田(阪急・阪神)の各駅から徒歩数分



□船場アートカフェ

<http://art-cafe.ur-plaza.osaka-cu.ac.jp/index.html>

大阪市中央区久太郎町3-2-15 三休橋エクセルビル北館 地下1階
市営地下鉄本町、堺筋本町の各駅から徒歩5分

地下鉄 本町駅	中央大通	船場センタービル⑦⑧		地下鉄 堺筋本町駅
	御堂筋	心斎橋筋	●サンウェーブ	堺筋
	●TOTO	●ampm	●郵便局	
御堂会館●		船場アートカフェ●	●IVY&NAVY	
	●みなとBK	久宝公園●		

関連
フォーラム
開催

「グローバル経済と芸術 ～フランスの文化政策を通じてみる、日本の芸術文化環境～」

□日時：2009年6月15日(月) 18:30～20:30

□会場：キャンパスポート大阪 ルームD・E

□ゲスト：ミシェル・ヴィナヴェール(仏・脚本家)、相馬千秋(フェスティバル/トーキョー プログラム・ディレクター)、
平田オリザ(大阪大学コミュニケーションデザイン・センター教授)、小田中章浩(大阪市立大学大学院文学研究科教授)

□参加無料

□定員：80名(申込みは下記まで。事前ご予約いただいた方を優先します)

□申込み・問合せ：aaam@ur-plaza.osaka-cu.ac.jp